



平成 27 年 12 月 15 日

各 位

会 社 名 アジアグロースキャピタル株式会社  
代表者名 代表取締役社長 小川 浩平  
(コード番号 6993 東証第2部)  
問合せ先 総務部長 岩瀬 茂雄  
(TEL. 03-3448-7300)

### CITIC XINBANG ASSET MANAGEMENT CORPORATION LTD. との 合弁会社設立を伴う業務提携に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、下記のとおり、中国最大の企業集団 CITIC グループの連結子会社であり、中国質屋業界において大手の CITIC XINBANG ASSET MANAGEMENT CORPORATION LTD. (以下「CXB」といいます。) との間で、当社連結子会社である株式会社大黒屋 (以下「大黒屋」といいます。) が営む中古ブランド品の買取販売事業及び質事業のアジア圏でのシェア拡大、ひいてはアジア圏 No1 となることを目的として業務提携を行い、合弁会社を設立することに関して覚書を締結することを決議いたしましたので、お知らせ致します。

#### 記

#### 1. 業務提携の理由

当社は、中国のブランド品市場は世界最大であるものの、リユース市場は未成熟であり、今後の成長性が見込める市場であると判断しております。そこで、当社といたしましては、大黒屋が営む中古ブランド品の買取販売事業及び質事業の既存ビジネスモデルを中国リユース市場へ移植することにより、①大黒屋が日本において培ってきた「目利き力」を活かすことで顧客の信頼を獲得することができ、②業者間取引市場がない中で、大黒屋のノウハウを活用して展開が可能であり、③中国における中古品取引に対する不審を信用力のある大黒屋ブランドで補完できるものと考えております。

そのため、本年 11 月 26 日付の『『中期事業計画 (2016 年度-2018 年度)』の策定に関するお知らせ』にもありますとおり、中国リユース市場への進出は、当社グループの中古ブランド品の買取販売事業及び質事業の更なる成長が見込め、ひいては株主利益最大化につながるものと考え、中国質屋業界大手である CXB と中国合弁事業の立ち上げを以前より継続的に検討して参りましたが、今般、CXB との交渉の末、合弁会社設立を伴う業務提携に関する覚書を締結することとなりました。

#### 2. 業務提携の内容等

##### (1) 業務提携の内容

このたび設立する合弁会社は、中国最大の企業集団 CITIC グループの連結子会社であり、中国質屋業界において大手の CXB と当社との共同出資企業です。大黒屋が営む中古ブランド品の買取販売事業及び質事業の既存ビジネスモデルを未成熟な中国リユース市場へ移植するとともに、同新会社の経営陣として当社経営陣より 2 名、CXB 経営陣より 2 名任命し質屋、古物売買業のノウハウを注入し、中国において、中古ブランド品の店舗買取販売をはじめ、インターネットによる買取販売、質事業を展開してまいります。業務提携の相手先である CXB は、中国で最も信用力のある企業集団である CITIC グループの連結子会社であり、中国 16 都市に、小売店舗を 6 店舗、質屋を 24 店舗、委託店を 1 店舗

有しております。CITIC という企業ブランドを使用することで、当社グループが独自で中国進出する場合に比べ、より一層の成長が見込まれるものと想定しております。

## (2) 合弁会社の概要

① 名 称	CITIC-Daikokuya Corporation, Ltd. (仮称)
② 所 在 地	中華人民共和国北京市
③ 代表者の役職・氏名	董事長 小川浩平
④ 事 業 内 容	中古ブランド品の買取販売事業及び質事業
⑤ 資 本 金	5,000 万人民币元 (約 9.2 億円)
⑥ 設 立 年 月 日	平成 28 年 3 月 31 日 (予定)
⑦ 決 算 期	12 月
⑧ 純 資 産	未定
⑨ 総 資 産	未定
⑩ 合弁会社に対する 出 資 比 率	当社 : 50%、CXB : 50%

(注) 1. 円換算にあたっては、1 人民币元=18.5 円として換算しております。

2. 本合弁会社の経営陣については、当社が任命する 2 名 (小川浩平を含む)、及び C X B が任命する 2 名の、計 4 名が就任する予定です。

## (3) 合弁会社の業績の見通し

合弁会社である[CITIC-Daikokuya Corporation, Ltd. (仮称)]は、平成 31 年 3 月期までに新規に 10 店舗を展開し、売上高 70 億円を目標として営業活動を行います。

## 3. 業務提携の相手先の概要

① 名 称	CITIC XINBANG ASSET MANAGEMENT CORPORATION LTD.			
② 所 在 地	中華人民共和国北京市			
③ 代表者の役職・氏名	董事長 Liu Zhiqiang			
④ 事 業 内 容	質屋営業			
⑤ 資 本 金	8.7 億元 (約 160 億円)			
⑥ 設 立 年 月 日	平成 20 年 7 月			
⑦ 大株主及び持株比率 (平成 27 年 12 月 9 日現在)	CITIC AMC : 60.03% JunHe Investment Co. Ltd. Tibet : 10.46% Wanhao Jiamei Investment Co., Ltd. Beijing : 8.91%			
⑧ 上場会社と当該会社 との間の関係	資 本 関 係	該当事項はありません。		
	人 的 関 係	該当事項はありません。		
	取 引 関 係	該当事項はありません。		
	関 連 当 事 者 へ の 該 当 状 況	関連当事者には該当しません。		
⑨ 当該会社の最近 3 年間の連結経営成績及び連結財政状態				
	決算期	平成 24 年 12 月期	平成 25 年 12 月期	平成 26 年 12 月期
純 資 産		18,107 百万円	25,462 百万円	28,326 百万円
総 資 産		43,815 百万円	61,403 百万円	59,616 百万円
売 上 高		6,382 百万円	10,815 百万円	12,558 百万円
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益		1,913 百万円	3,202 百万円	3,741 百万円

※円換算にあたっては、1 人民币元=18.5 円として換算しております。

#### 4. 日程

- (1) 取締役会決議日 平成27年12月15日
- (2) 契約締結日 平成27年12月(予定)
- (3) 事業開始日 平成28年4月(予定)

#### 5. 今後の見通し

当該合弁会社設立を伴う業務提携については、事業開始時期を平成28年4月に見込んでいることから、当期(平成28年3月期)の連結業績に与える影響は軽微であると判断しております。今後、連結業績に重要な影響が生じることとなった場合は、判明次第、速やかに開示させていただきます。

以 上

CITIC XINBANG ASSET MANAGEMENT との中国における  
合併事業設立に関する覚書(MOU)締結について

アジアグローブズキャピタル  
2015年12月



大黒屋

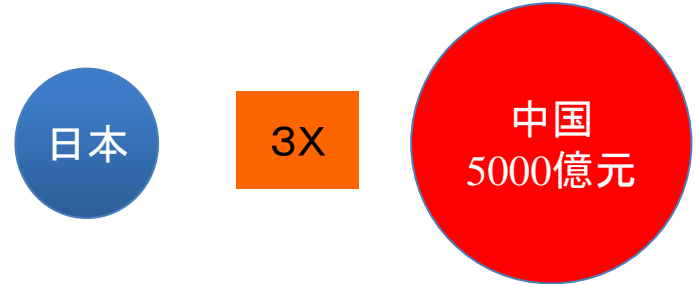


The SIFQUE

# 中国における合併事業設立計画の概要

1. 中国は世界最大のブランド品市場
  2. リユース市場はまだ未成熟
  3. 大黒屋の事業モデルを移植する
  4. 2016年に北京と上海で出店予定
- + Luxwise のネット事業展開

中国のブランド市場は日本の3倍



中古ブランド品の市場は10% 500億元

## 合併事業の概要

- 合併相手: CITIC XINBANG ASSET MANAGEMENT CORPORATION LTD.
- 合意時期: 2016年3月期
- 事業内容: 中古ブランド品の買取販売  
中古ブランド品の質事業
- 事業開始: 2016年度
- 総投資額: 125百万人民元(約23億円)
- 出資額: 50百万人民元(約9.2億円)

事業計画(案) (事業全体)

億円	17/3	18/3	19/3
店舗数	3	6	10
売上	21	42	70
営業利益	3	5	10

1人民元=20円で換算



# 中国における合併事業設立計画の内容

## 今回の覚書における合併事業の内容

① 合併相手： CITIC XINBANG ASSET MANAGEMENT（中安信邦资产管理有限**公**司）  
※CITIC グループの連結子会社

② 合併比率： 50% : 50%

③ 合併形態： 中外合資経営企業

④ 合併契約書締結時期： 年内

⑤ 合併会社設立時期： 2016年3月

⑥ 総投資額： 125百万人民元（日本円換算 凡そ 23億円）



# CITIC XINBANG ASSET MANAGEMENT について

CITIC Xinbang Asset Management は、中国最大の企業集団 CITIC GROUP の金融事業部門に属するグループ会社で、中国における質屋(典当)最大手の1社。

- 名称 CITIC XinBang Asset Management Corporation Ltd. (中安信邦资产管理有限公司)\*
- 本社 中華人民共和国北京市 \* CITIC グループの連結子会社
- 事業所など 北京、上海、天津、瀋陽、大連、青島、杭州、アモイ、深セン、太原、武漢、重慶、南寧、合肥、その他16都市に 6支店、24店舗、1委託販売店
- 設立 2008年7月
- 事業内容 質屋営業
- 株主  
CITIC AMC 60.03%  
JunHe Investment Co. Ltd. Tibet 10.46%  
Wanhao Jiamei Investment Co., Ltd. Beijing 8.91%
- 董事会 6名(内4名 CITIC Asset Management)、董事長 – Liu Zhiqiang
- 経営陣 5名(Liu Zhiqiang – Chairman / Tang Huijuan General Manager)
- 収支状況 売上 6.7億元(125億円)、利益 2億元(37億円) … 2014年度、1人民元=18.5円で換算
- 登録資本 8.7億元(160億円) … 2014年度、1人民元=18.5円で換算



# 中国合弁会社の概要

- 名称 CITIC Daikokuya (仮称)
- 本社 北京
- 株主  
CITIC Xin Bang (以下 CXB) 50%  
アジアグロースキャピタル 50%
- 董事会  
董事長 小川浩平  
副董事長 CXBが任命
- 経営陣  
総経理 CXBが任命  
副総経理 AGCが任命
- 総投資額 125百万人民元(約23億円)
- 出資額 50百万人民元(約9.2億円)
  - ＞ 各社 25百万人民元(約4.6億円)





# 本合弁事業を立ち上げる理由

▶□ 世界最大のブランド品市場への進出

▶□ リユース市場はまだ未成熟なので発展余地が大きい

▶□ 日本で培ってきた「目利き力」を活かすことで顧客の信頼を獲得できる

▶□ 業者間取引市場がないので、大黒屋のノウハウを活用して展開が可能

▶□ 中古品取引に対する不審を、信用力がある大黒屋のブランドで補完できる

▶□ 合弁相手は中国で最も信用力がある企業集団である



# 合併事業の戦略

▶□ 大黒屋ブランドの積極的活用

▶□ 大黒屋で培ってきた目利き力の導入

▶□ 大黒屋の高度な在庫管理手法の導入

▶□ 中国の主要都市圏における積極的な出店

▶□ Luxwiseのノウハウを活用したウェブベースの取引展開

▶□ CXBの既存事業との相乗効果追求

▶□ CITIC グループ企業として有利な条件での現地資金調達



# 合併事業における出店計画

3年間で10店舗出店予定 - まずは来年北京と上海でパイロット店舗を開店する。(出店計画は各種の許認可が下りる時期によって前後します)



当初は3都市圏にフォーカスする:

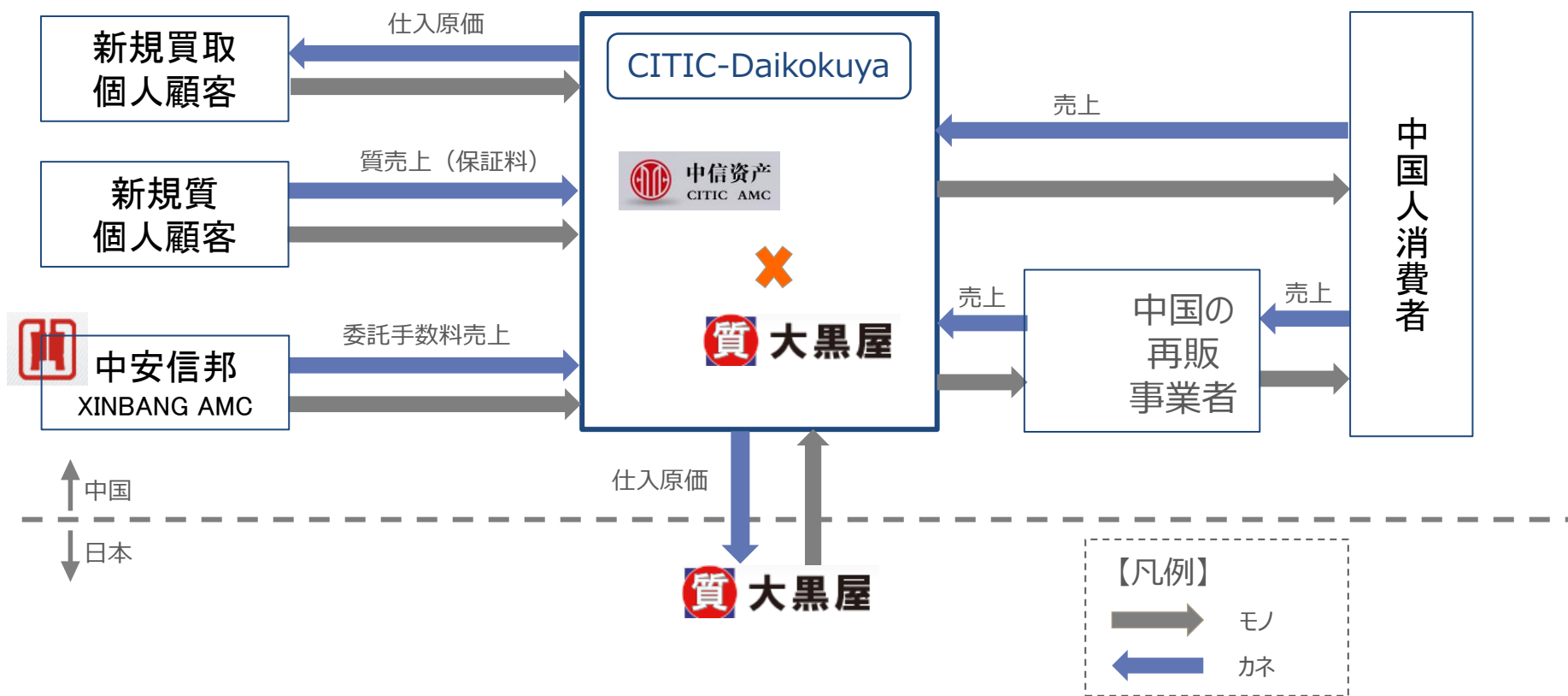
- 北京
- 上海
- 広州

事業開始時点で、北京と上海でパイロット店舗を1か店ずつ開店

3都市圏に展開する店舗の経営状況を見ながら順次他の都市圏に進出する

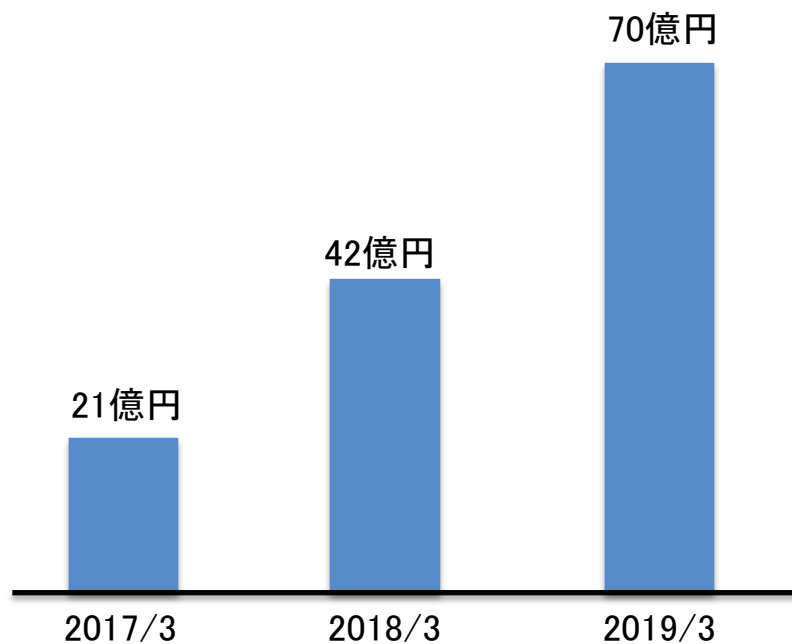
# 合併事業のビジネスモデル

合併会社(CITIC-Daikokuya)は、①日本で中古ブランド品の買取を行っている大黒屋と②中国の消費者から中古ブランド商品の仕入れを行い、中国で中国人消費者に向けてその中古商品を販売します。

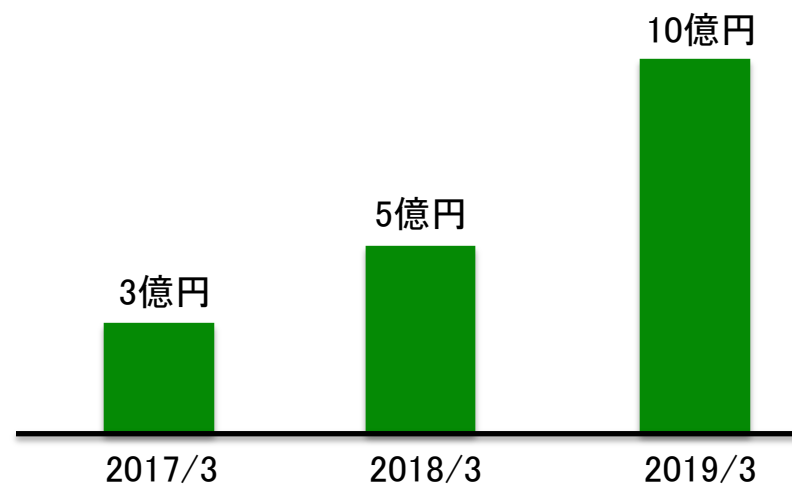


# 事業計画(調整中)

売上計画(RMB1=JPY20)



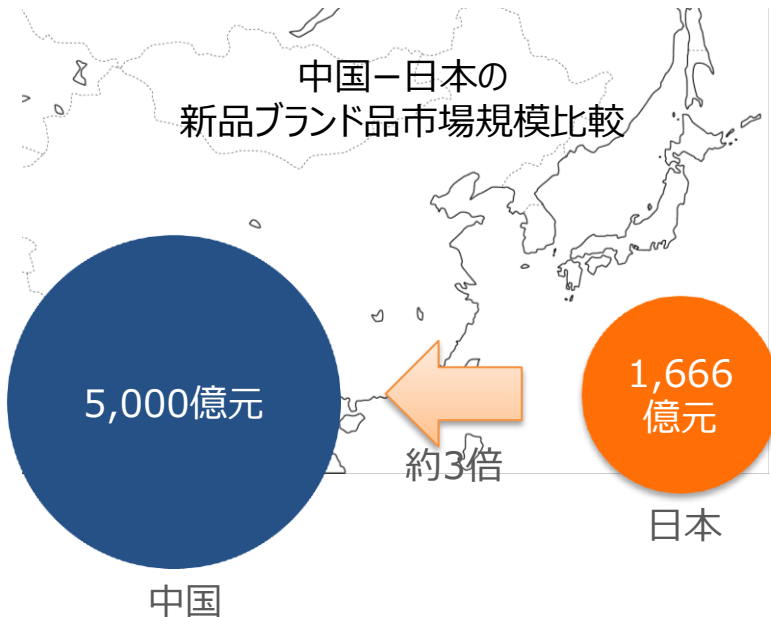
営業利益計画(RMB1=JPY20)



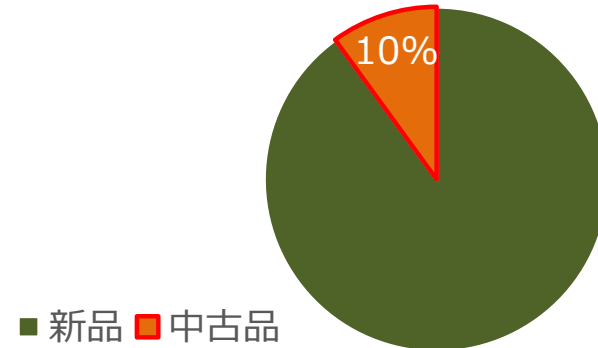
# 中国の市場規模は 500億元(1兆円)

中国の新品ブランド品の販売額に対する中古ブランド品の割合が日本水準になった場合、500億元の市場規模になることが推計される。

中国の新品ブランド品市場規模比較



日本におけるブランド品新品中古品割合



出所：『世界の高級品市場レポート2015年版』  
ベインアンドカンパニー

- 本資料は将来予測に関する記述を含んでおります。また、公知の事実以外の記載については、当社の考え及び期待など意見・予測が含まれます。
- 事実以外の記述は、現在の計画、予測及び予見などに基づいて作成されております。将来予測の記述は、それらが策定された日付時点において合理的と考えられたものであり、それらのいずれに関しても、その後新たに入手可能な情報又は将来事象を考慮して更新すべき義務を負うものではありません。
- 将来予測の記述には、それに付随してリスク及び不確実性を含まれます。したがって、様々な重大な要因によって、実際には、将来予測の記載とは異なる結果又は結末が生じる可能性があります。

